

中日会報

公益社団法人中部日本書道会
編集事務局編集部
〒450-0002 名古屋市
中村区名駅二丁目45-19
桑山ビル8階C号室
電話(583)1900番
FAX(583)1910番
http://www.cn-sho.or.jp
info@cn-sho.or.jp
印刷 株式会社 荒川印刷

理事長あいさつ



理事長
関根玉振

芸術の秋となり、会員皆様益々御繁多
な事と拝察致します。

理事長を拝命してから、あつという間
のここ数年でしたが、新たに選任致し
ました副理事長はじめ企画委員の先生方
と「一致団結」して、本会の事業を推進
する為に、検討を重ねております。

本年度下半期の事業の中では、愛知県
より要請のありました中国江蘇省との
『友好書道展』が、十一月に南京市に於
いて開催され、江蘇省書法家の作品と共
に、本会員役員の先生方の力作が、展観
されます。

公益社団法人中部日本書道会となっ
て、初めての海外展となり、先の計画を
引き継いでの事業となりますが、先生方
のお力をお借りして、成功裡に導けるよ
う努めてまいりたいと思っておりますので宜し
くお願い致します。

展覧会の開会式に合わせ、名誉顧問の
大村秀章愛知県事に帯同する「国外史
跡探訪研修会」も実施されます。また、
来年度は第六十八回中日書道展に合わ
せ、江蘇省からお迎えしての、展覧会及
びレセプションも計画しております。

これらの事業が、「友好の懸け橋」と
なり、社会に対しての貢献を旨とする、
公益社団法人の責務を果たすものと確信
しております。

他の事業と致しましては、会員・一
般の方を対象とする『公開講座』、人生
の諸先輩による『壽書展』、毎年、多く
の善意を頂いております『チャリティ
愛の募金』、会員親睦の為の『会員交流
ボウリング大会』、子供達への発表の場
としての『書き初め展』が計画されて
おります。

中でも、『書き初め展』は、次の世代
へ日本文化の『書』を継承してゆく機会
として注目の事業です。多くの生徒さん
の出品を期待しております。
各事業に於きましても、会員・協賛会
員の皆様のご参加・ご協力又、ご支援を
宜しくお願い申し上げます。

「2017年 チャリティー愛の募金」について

拝啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素は、本会の福祉事業に対しまして、ご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本会では、毎年、年末に「しあわせ薄い人々に愛の手を」をスローガンとし
て「チャリティー愛の募金」を行っております。

つきましては、本会役員の先生方並びに会員の皆様には広く献金をお願いし、中日
新聞社会事業団・東海テレビ「愛の鈴」の方へ寄託をして参りたいと思っております。何卒
主旨ご理解の上、下記の通りご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この募金の締め切りを、平成29年11月30日(木)といたします。払込用紙を同封させて
いただきましたのでよろしくお願い申し上げます。

尚、献金の経過並びにご芳名は1月発行の中日会報でご報告をさせていただきます。

敬 具

理 事 長 関 根 玉 振
渉外宣伝部長 川 崎 尚 麗

ご献金にお願いの基準

名誉会長代行、名誉副会長、常任顧問、理事、 監事、顧問	10,000円
参与、評議員	3,000円
正会員	1,000円

チャリティー募金は寄付金として控除できます。

確定申告時には、領収書と証明書が必要です。領収書をご希
望の方は本部事務局までご連絡ください。

証明書は中部日本書道会ホームページから印刷できます。
ホームページ <http://cn-sho.or.jp/> メール info@cn-sho.or.jp

目次

- 1 理事長あいさつ
- 2 チャリティー愛の募金
- 3 黒野清宇先生を偲ぶ
- 4 第二十一回公開講座
- 5 国外史跡探訪研修旅行
- 6 第二十六回壽書展
- 7 第六十八回中日書きぞめ展作品募集
- 8 第三十四回読売書法展入賞者
- 9 第六十九回毎日書道展入賞者
- 10 支部だより(上半期)

団体署名実施協力中

つなごう日本の書道文化
ユネスコの無形文化遺産に

日本書道ユネスコ登録推進協議会

常任顧問

黒野清宇先生を偲んで

村瀬俊彦



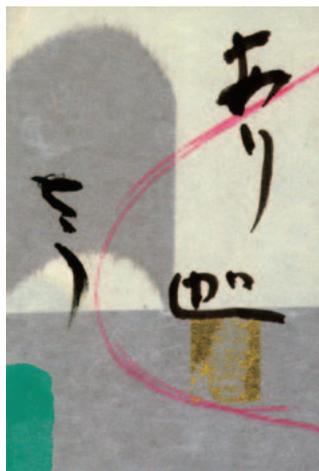
去る平成二十九年七月五日黒野清宇先生がご逝去されました。

先生は豊田市の中学校をはじめとして椋山小学校・短期大学部、愛知教育大学で定年されるまで書写書道教育および日本の書道の教育、研究に努められました。一方では日本の

「かな書道」の代表作家として、仮名の振興に努力され、日本文化に多大な貢献をされました。数多くの作品を生み出し、数年前からは「萬葉集」をテーマにして、仮名作品の萬葉表記を用い、新しい試みとして作品を制作していました。私たち弟子にも、懇切丁寧な指導をしていただき、一同感謝をしています。また先生はここ数年「ありがとう」という言葉を繰り返し述べられて作品にされています。

先生の戒名については、弟子の長谷川昌弘（臨濟宗僧侶）さんが、先生の一生を鑑みて、先生に相応しい「龍文院清光貞照居士」と名付けました。

今後は、私たち弟子が黒野清宇先生が残した数々の書に対する心構え、情熱等忘れずに頑張ってください。どうぞ安らかにお休みください。 合掌



平成29年度 第21回 書の魅力 公開講座

会員及び一般市民を対象に、中部日本書道会を代表する 2 名の講師が書の魅力について講演します。

平成29年11月26日(日)

受付 12:30

開会行事 13:00

第一講座 13:15~14:15

理事

村瀬俊彦先生

演題「『かな』あれこれ」

第二講座 14:35~15:35

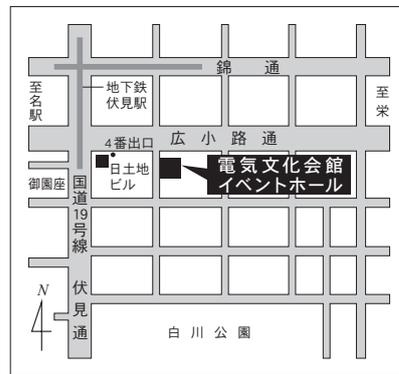
理事

工藤俊朴先生

演題「書の五目話」

閉会行事 15:35 修了証授与

- 会場** 電気文化会館
イベントホール (5階)
名古屋市中区栄2-2-5
- 会費** 無料
(ただしテキスト・資料代として2,000円集めさせていただきます)
- 対象** 一般市民 (15才以上) で原則として2講座とも聴講できる方
- 定員** 150名 (先着順)
- 締切** 10月27日(金)
- 申込** はがきに住所・氏名・電話番号を明記のうえ下記まで



第26回 壽書展開催 会期 平成29年11月21日(火)~11月26日(日)
会場 電気文化会館 (5階 東・西ギャラリー)

『愛知県・江蘇省友好書道展』開幕式典参加
(公社)中部日本書道会
国外史跡探訪研修旅行
 ～中国・南京～



揚州博物館



南京博物院

愛知県と友好都市関係にある中国江蘇省との間で友好交流事業の一つとして本年11月に省都・南京において『愛知県・江蘇省友好書道展』が開催されます。愛知県からの要請を受けて当協会としては作品出品等で協力することとなりました。そこで、本年は久方ぶりに国外史跡探訪研修旅行として、開幕式典に併せた2泊3日の旅行を企画いたしました。短い旅行期間ではありますが、交流書道展開幕式典への参加と鑑賞、中国書道家との交流、北京故宮博物院と並ぶ南京博物院、南京近郊の歴史ある都市・揚州を訪れ、奈良唐招提寺の開祖である鑑真和上ゆかりの大明寺、鄭板橋をはじめとする“揚州八怪”の作品を展示する揚州博物館、揚州八怪記念館を参観する行程となっております。

■旅行月日 2017年11月21日(火)～23日(木)
 ■訪問国・都市 中華人民共和国・南京・揚州
 応募人員以上のご参加が有り申し込みは締め切らせていただきました。

日 程 表

日数	月日(曜日)	都市名	交通機関	時間	摘 要
①	11月21日(火)	中部国際 上海浦東 上海浦東 南 京	JL883 専用バス	7:30 9:00 11:05 午 後 夕 刻	早 朝：中部国際空港国際線出発ロビーに集合 午 前：日本航空にて上海浦東空港へ (時差：-1時間、所要時間：3時間5分) 着 後：専用バスにて南京へ ※途中、「上海エアポートホテル」にて軽食と小休止 夜：宿泊ホテル内個室宴会場にて夕食 朝：機、昼：R、夕：H (南京泊)
②	11月22日(水)	南 京 州 揚 州 南 京	専用バス	夕 刻 夜	終 日：『愛知県・江蘇省友好書道展』開幕式典に参加 (10:00～予定) 昼 食：愛知県・江蘇省交流昼食会に参加 昼食後：専用バスにて揚州へ(約1時間) 着 後：揚州市内観光 奈良唐招提寺の開祖・鑑真和上ゆかりの寺院大明寺、鄭板橋をはじめ“揚州八怪”の作品を展示する揚州博物館、揚州八怪記念館 夕 刻：専用バスにて南京へ 着 後：宿泊ホテル内個室宴会場にて夕食 朝：H、昼：×、夕：H (南京泊)
③	11月23日(木)	上海浦東 中部国際	JL884	17:30 20:55	出発迄：南京博物院を観光 午 前：高速鉄道(新幹線)にて上海へ(約1時間30分) 着 後：専用バスにて上海浦東空港へ ※途中、「ラマダプラザ浦東ホテル」にて昼食 着 後：搭乗手続き及び中国出国手続き 夕 刻：日本航空にて帰国の途へ (時差：+1時間、所要時間：2時間25分) 朝：H、昼：R、夕：機

食事記号：H…ホテル、R…レストラン、機…機内食、×…ナシ
 (宿泊利用予定ホテル) ◇南京：南京中心大酒店クラス(5ツ星)

平成29年度 公益社団法人 中部日本書道会
第26回 壽 書 展

70才以上の方を対象にご長寿をお祝いし、益々のご健勝を祈念して開催致します。
 ご高覧下さい。

会 場：電気文化会館（5階 東・西ギャラリー） 会 期：平成29年11月21日(火)～11月26日(日)
 名古屋市中区栄2-2-5 午前10時～午後5時(最終日は午後4時まで)

主 催：公益社団法人 中部日本書道会・中日新聞社
 後 援：愛知県・愛知県教育委員会・岐阜県・岐阜県教育委員会・三重県・三重県教育委員会
 名古屋市・名古屋市教育委員会

◇出品予定者

- | | | | | | | | | | | | |
|---|---|--|--|--|---|--|--|---|--|--|---|
| 横山 山中 森 三神 堀場 早川 丹羽 中村 中島 津田 田中 武山 高橋 佐藤 近藤 権田 倉重 落合 安藤 中林 土屋 後藤 黒田 伊藤 鬼頭 安藤 樽本 | 夕葉 秋邦 清暉 榮軒 凶南 泰山 常見 秀峰 龍溪 秋月 白雲 翠屋 秀箭 慶雲 素光 穂園 深淵 秀川 露風 陽山 汀鶯 玄夏 昌石 翔雲 滴水 樹邨 | 加藤 小野田 尾中 尾関 岡地 大塚 大谷 江馬 梅村 伊藤 市野 石原 石原 池田 飯沼 有賀 赤堀 青山 青木 築瀬 服部 服部 中川 杉江 柴田 小林 久原 亀井 磯和 渡邊 | 松雲 景月 杉得 楊花 紅華 窓月 素子 翠峰 鶯谷 香芳 香嶺 清至 春香 成子 天光 邦彦 正風 瑞香 芳翠 舟香 祥石 松香 京童 秋水 静葩 佳子 幡川 鴻東 笙鶴 | 長谷川 則武 野村 野中 丹羽 新美 中村 中村 中村 中川 鴉澤 武山 竹内 鈴木 鈴木 庄田 下郷 志水 志水 酒瀬川 酒井 齋藤 近藤 近藤 後藤 児島 熊崎 工藤 清 北村 神谷 加藤 | 恵玉 穹 暁峰 曾川 裕 珠光 竹童 曾南 清園 貴舟 澄江 昂石 春翠 蘭峰 静苑 華川 豊園 春汀 玉華 玉華 麗月 翠苑 晴翠 雲洋 松烟 泰碩 北咏 茜邑 芳園 光苑 静苑 碧涛 | 加藤 大河戸 今村 稲垣 伊藤 石倉 飯田 浅井 縣 青山 渡辺 渡辺 吉井 山田 山川 山川 保田 森 森 桃井 村瀬 三輪 宮田 光澤 松田 松下 本田 藤原 深田 坂野 早野 | 碩望 柳光 禎邨 泗郷 鴻仁 桜舟 寿泉 清泉 欣司 碧雲 北嶺 月潭 子雪 鶴玲 昌泉 杉徑 翠溪 實年子 京華 祥谷 竹風 晴風 宮田 清風 閑石 鶴鵬 鶴苑 秀岳 郁代 芳香 竹童 江郷 | 氏家 藤花 渡辺 山田 森 水野 松田 牧野 堀 廣瀬 平松 濱田 信川 中田 中垣 谷口 竹内 高木 宗林 志賀 三治 佐藤 佐々木 酒田 榊原 坂井 近藤 小林 小早川 後藤 熊谷 加藤 | 紫江 祥恵 一葉 紅翠 穂輝 瑞風 春陽 玉樹 圭鳳 芳園 芳枝 菊香 幸聲 春園 芳華 賀代 賀代 翠徑 雪子 涛星 桃華 博山 悠園 虹輝 諏谷 萩泉 小早川 慧鏡 弦謡 芳枝 | 前野 久住 生田 笠井 小倉 伊藤 大野 三輪 山口 内山 服部 中田 藤田 早川 永田 佐々木 近藤 渡邊 水野 本間 堀 菱田 野村 寺尾 田辺 杉本 小島 川口 岡田 | 仁茜 千代子 紫燕 名琴 小蒼 幽精 大典 江雪 香鈴 明 嘉子 孝雲 螢雪 正毅 陽道 娃歌 翠芳 笑子 淳泉 美芳 繁子 泰子 錦楊 紫藍 芳雲 正舟 |
|---|---|--|--|--|---|--|--|---|--|--|---|

十月一日現在
 (順不同)

第68回 中日書きぞめ展作品募集

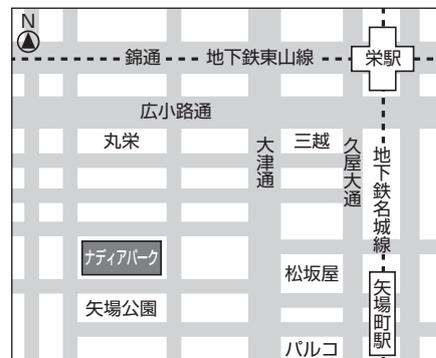
◆会 期 平成30年3月17日(土)・18日(日)

17日(土) 午後1時～午後6時

18日(日) 午前10時～午後6時

◆会 場 ナディアパーク2F アトリウム

名古屋市中区栄3丁目18番1号



◆授賞式 平成30年3月18日(日) 午後2時 ナディアパーク3F デザインホール

- ◆褒 賞 文部科学大臣賞、愛知・岐阜・三重各県知事賞、名古屋市長賞、
愛知・岐阜・三重各県教育委員会賞、名古屋市教育委員会賞、中日書道会賞、中日新聞社賞、
東海テレビ放送賞、CBCテレビ賞 (以上申請中)、名誉会長賞、理事長賞、推薦、奨励賞、特選、
準特選、秀逸、佳作、入選 ※会場には奨励賞以上の作品を陳列します。

◆資 格 幼年・小学生・中学生・高校生

◆課 題 自由 — 参 考 —

幼年 う た・いのち	小4 自然の美・生命の力	中2 友好を深める・地球大交流
小1 みらい・みどり	小5 夢の大地・世界交流	中3 墨の祭典・環境の美化
小2 ふれあい・心のとも	小6 地域開発・友情の輪	高校 新技術開発・友好提携
小3 生きる力・町の美化	中1 未来の夢・美しい自然	

◆出品要項 詳しい出品要項出品目録が中日書道会本部にありますのでお問い合わせ下さい。

- ◆作 品 ○用紙は、半切1/4縦(八ツ切) ※高校生は半切縦も可 ○作品は、表装しないこと。
○書体は、幼・小=楷書、中=楷書又は行書、高校生=自由
○作品には、学年・氏名を必ず明記すること。

◆出 品 料 一点につき400円(個人出品者は賞品、賞状の郵送料として300円を加算して下さい。)

◆搬入締切 平成30年1月18日(木) 午前10時～午後3時 (送付される場合は17日(水)中部日本書道会本部必着をお願いします。)

◆搬入場所 公益社団法人 中部日本書道会 〒450-0002 名古屋市中村区名駅二丁目45番19号 桑山ビル8階C号室 担当 教育部長 廣澤凌舟 TEL <052> 583-1900 FAX <052> 583-1910

◆取扱所 伊藤大林堂、永楽堂、應天堂、魁盛堂、伽藍、菊屋商店、高誠堂、小松表具店、書遊 平野筆墨堂、新泉堂、 青雲堂、青柳堂、荘文堂、大玄堂、長楽斎筆舗、名古屋キョー和、名古屋ハウコドウ、松屋紙店

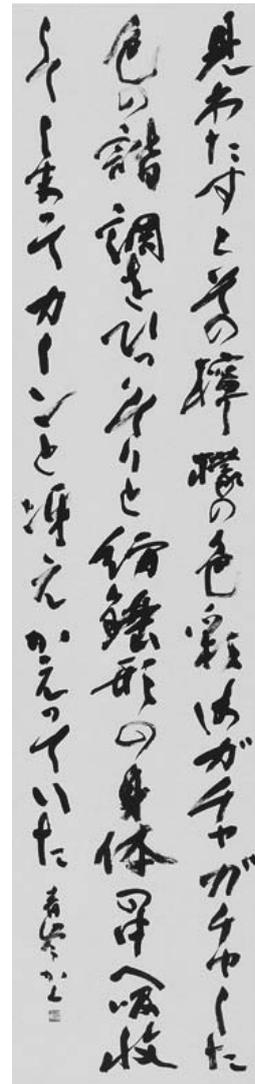
主催 公益社団法人 中部日本書道会、中日新聞社

後援 愛知県・愛知県教育委員会、岐阜県・岐阜県教育委員会、三重県・三重県教育委員会、
名古屋市・名古屋市教育委員会、東海テレビ放送、CBCテレビ(申請中)

第三十四回 読売書法展入賞者

〔本会会員関係分〕
〔中部展出品者より〕

読売準大賞（調和体） 大池 青岑



読売準大賞

（調和体）

大池 青岑

読売新聞社賞（漢字） 北川 爽風



（漢字）

内田 翠徑

北川 爽風

高桑 嚴風

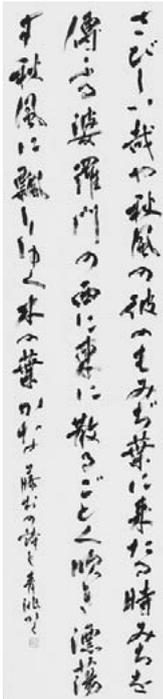
読売新聞社賞（漢字） 高桑 嚴風



（かな）

清木美智子

読売新聞社賞（調和体） 近藤 青洸



（篆刻）

香月 恵里

（調和体）

近藤 青洸

読売新聞社賞（篆刻） 香月 恵里



読売新聞社賞（かな） 清木 美智子



読売新聞社賞（漢字） 内田 翠徑



読売俊英賞 特選

〈漢字〉

伊藤 龍仙

窪田 蝶華

高木 玄齊

中川 星光

〈かな〉

小野田景月

藤原 郁代

〈調和体〉

石黒 直子

藤堂 光風

読売奨励賞

〈漢字〉

船橋 幽泉

森 芳彩

森本 夏溪

〈かな〉

鈴木真理子

永島 育子

森 實年子

八木 敬子

〈調和体〉

伊藤 桂琴

〈漢字〉

今村 寿鴻

加藤 香雪

國島 英華

國廣 寿仙

近藤 諷谷

鈴木 雲峰

竹田 景汀

長尾 秀麗

吉田 桃花

〈かな〉

井上 鈴子

井上三保子

藤社 葉子

〈篆刻〉

上前 総子

水谷 有志

河口 香華

村上 誠香

香山 瑞香

青木 美洲

秀逸

〈漢字〉

青山 瑞香

浅野 清澄

安藤 範香

石川 明加

井谷 李春

伊藤 玉冰

伊藤 谿石

伊藤 舒榮

猪又 松峰

伊村 耕心

遠藤 紫聖

太田 紫翠

大野 彩

岡田 愛子

岡田 翔鳳

奥田 蘇水

奥村 三葉

加藤 智加

倉田 果苑

田代 青穂

田中 春華

種田 瑞鳳

勅使河原恵翠

長尾 珠泉

中島 静鈴

中西 瑶花

夏目 美沙

丹羽 藍水

浜野 春瑛

濱屋 大樹

古田 清流

三代 雄峯

水谷 天風

吉田 聖汀

和田 玉繡

伊藤 静香

大野 妙子

大嶋由美子

大原 律苑

岡戸 保子

小倉 壽子

小野田美晴

川本 泉

木村 立代

佐藤 典子

志村 舟泉

鈴木 千恵

高木 愛子

土屋 香風

富川 頌川

西尾 雅子

丹羽 鈴子

丹羽 博美

古山 玉扇

堀田 花

松田 典子

水野美保子

山口 晶子

山口 鈴代

山中みね子

山本宮乃理

伊藤 紅彩

太田 累倫

吉原 愛璃

磯辺 花泉

伊藤 春翠

大野 蘭香

川本 俊子

近藤 梅鶯

中嶋 彩友

長谷川緑光

山下 華月

吉田八千代

第六十九回 毎日書道展入賞者 (本会会員関係分) (東海展出品者名簿より)

毎日賞

〈漢字部I類〉

鈴木 香葉

谷口 琇苑

〈近代詩文書部〉

小林 恵風

近藤 瑤華

松井香代子

保田 翠苑

大塚 裕子

桜井 和香

平野 智山

福谷 紅葉

梅村 鉄明

北村 義明

黒柳 真実

井上 香苑

太田 浄泉

大橋 幽径

熊澤 清流

佐藤 緑風

下村 佳風

東海林路子

鈴木いずみ

高橋 花柊

谷口 大観

土屋 春聲

福岡 優慧

堀部 悠華

坂 里美

平田 光蘭

森下喜久子

吉川 桃香

米田 清翠

鶴飼 冠山

小川 東歩

白石 智舟

増田 紅葩

吉田 香雪

和佐田裕翠

U23新鋭賞

〈漢字部I類〉

秋田 夏美

〈近代詩文書部〉

原田 沙季

U23奨励賞

〈漢字部II類〉

福島 彩子

〈近代詩文書部〉

青木 榮俊

山岸 邦山

松下 聖心

杉本 扇鈴

村上 史麗

長田 裕華

〈漢字部II類〉

神村 啓江

河村 紫夙

日下部みゆき

※両展共記載漏れについては極力注意しておりますが、万が一ございましたら本部迄ご一報ください。次号に掲載させていただきます。

会員交流

ボウリング大会

懇談会 競技終了後
 会 場 星ヶ丘ボウル
 会 費 3,000円 (会員外4,000円) ※ 競技費、懇談費用を含む
 申込〆切日 11月10日(金) 本部又は厚生部古川昇史まで。

会員外の方も参加出来ますので、ご友人等おさそい合わせください。多数のご参加をお待ちしております。(厚生部)



国外旅行研修補助制度のご案内

本会では、会員(準会員・正会員)が、視野を広め、見識を高め、教養の向上をはかることを目的に外国旅行をする場合、その費用の一部を補助する制度があります。

① 補助の対象者

会員期間が満十年以上の者とする。

② 補助金額

旅行先及び旅行日程にかかわらず二万円とする。

③ 補助回数

会員期間中一回とする。

④ 申請等の手続き

補助を受けようとする場合は、外国研修旅行補助申請書を提出する。

・ 申請

申請書を提出する。

・ 申込期日

原則として旅行予定日の一ヶ月前までに提出する。

・ 旅行の変更

旅行の予定変更又は中止の場合は、直ちに外国研修旅行変更(中止)届を提出する。

・ 添付書類

旅行費用を払い込んだ会員は、申請書に受領書(旅行先・日程等明記)又はその写しを添付する。

・ 補助金の交付

申請書を審査し、適格者に対して銀行振込により交付する。

・ 事後報告

旅行を終了した会員は、速やかに外国研修旅行終了報告書を提出する。

⑤ 補助金の返還

補助金を交付した後に、旅行中止の場合は、補助金は変換させるものとする。

・ 会員の皆様は、この補助制度を大いに利用して下さい。

担当 総務部

※ご質問等は本部事務局迄連絡下さい。

社中展・個展のご案内

○ Hの世界展―有賀邦彦・古希記念―

代表 有賀邦彦

会期 十一月十九日(日)～二十六日(日)

会場 多治見市虎溪山

無何有之郷 好日舎・画廊

本会会員による書展のご案内を会報及びHPにてさせていただきます。

会報には案内原稿を、HPには展覧会案内用ハガキを本部迄お送り下さい。

次号(一月号)は二月中旬から翌年五月中旬までの展覧会を掲載する予定です。

編集部

新入会員紹介(八・九月分)

● 濃飛支部 阪田 華香 田中 凌山

あとがき

中日会報第一八六号をお届けいたします。

本年度下半期の、本会主催事業である国外史跡探訪研修旅行・公開講座・寿書展・会員交流ボウリング大会・書きぞめ展等、多彩な催しのご案内をしております。会員皆様には、奮ってのご参加、ご協力を宜しくお願いいたします。

尚、前号での公開講座予告に於いて、講師順が未定のため、入替っております。本号での記載が、正規のご案内となりますので、ご確認をお願いいたします。

(編集部)

計 報

心より哀悼の意を表しご報告申し上げます。(厚生部)

○ 9月1日

正会員 栗本文月氏 享年 87才

○ 9月15日

正会員 山田弧舟氏 享年 87才

○ 8月5日

正会員 山田阿弥氏 享年 90才

支部だより (平成二十九年 上半期)

一宮支部

●二〇一七 一宮総合美術館

会期 六月八日(木)～十一日(日)
 会場 一宮スポーツ文化センター
 出品者 一宮支部員四十名
 主催 一宮市教育委員会
 一宮市芸術文化協会



2017 一宮総合美術展

一宮市芸術文化協会に所属する書道・日本画・洋画・彫刻立体・デザイン・工芸・写真の、各団体から推薦された作家による、一宮市が誇る総合美術展です。
 一宮支部からは四十名が出品、全部門総勢百五十名による大展覧会で、多くの方々楽しくご観覧いただきました。
 書部門の代表理事を務める当支部は、出品だけでなく、陳列作業はじめ、会場当番等の協力も行いました。

●第二十四回選抜作品展

会期 七月十五日(土)～十六日(日)
 会場 一宮スポーツ文化センター
 出品者 百九名

「おりもの感謝祭一宮七夕まつり」に協賛し、一宮書道連盟主催学生書道展との併催展であり、一宮支部として後援しています。

この「選抜作品展」は、支部役員を中心に学生書道展参加の指導者も出品して、「読めて、見て楽しく、ユニークな小作品」をモットーとしています。

学生書道展と同会場にて開催されるため、ご家族連れでの参観者も多く盛況裡に終了しました。



第24回選抜作品展

半田支部

●第五十三回学童書道展

会期 七月二十二日(土)～二十三日(日)
 会場 半田市福祉文化会館
 出品数 二、三三六点



第53回学童書道展

本年も支部役員と出品指導者の先生方により厳正な審査が行われ、数多くの賞を決定。学童展会場の活気は特別なもの、新しい顔、少し大きくなった顔、毎年いろいろな子供たちに会えます。切り取った自分の作品を大事そうに持って帰る姿をみると、この事業をやっているよかったです。近い将来親子四世代目の出品者もあらわれるかも？



第53回学童書道展 審査風景

●「寿」色紙贈呈

寄贈日 八月十八日(金)
 寄贈先 半田市、東浦町、阿久比町、武豊町、美浜町、南知多町
 寄贈数 七百十枚

本年も近隣一市五町の高齢者のご長寿を祝うため市・町を通して寄贈しました。いつもながら各首長さんから「毎年ありがとうございます。皆さん大変喜んでみえます。また近年、高齢者の方が増え皆さん楽しみに待ってられます。」とのお言葉をいただきました。継続していく責任に対して、感謝のことが重く肩にのしかかりました。



寿色紙贈呈

西三河支部

第五十回記念学生書道展

会期 七月七日(金)～九日(日)
会場 岡崎市美術館
出品数 五、八六九点

(内高校生三九八点)

入場者 一、九二九名
毎年テーマを決めての学生書道展。今年
は「交通安全」をテーマに開催いたしました。
五十回記念として優秀作品二二九点を
軸装にて展示。高校生以下の来場者には支
部名入り鉛筆を配布致しました。



会場風景



審査風景

知事賞に翔南中・鍋田さん

News article snippet about a calligraphy award winner, including a photo of the calligraphy and a '確認' (Check) section.

中日新聞掲載

東三河支部

東三河支部展

会期 八月一日(火)～六日(日)
会場 豊橋市美術館第三室
出品者 支部会員
出品数 一二五点

本部から関根玉振理事長、伊藤仙游副理
事長、岡野楠亭副理事長、松下英風副理事
長、大池青岑事務局長の玉作を賛助出品し
ていただき、第
四十一回東三河
支部展を開催い
たしました。

諸先生方、多
くのお客様にご
来場いただき、
温かいご指導や
励ましを賜り、
盛会のうちに会
期を終えること
ができました。



支部展風景

講演会

日時 八月六日(日) 午後三時半
会場 豊橋市民センター
講師 医療法人さわらび会
福祉村病院副院長
伊苺弘之 先生

演題 「いきいきと健康な生活を送る
ためのヒント」

「いつまでも書道を楽しむための生活の
工夫、健康長寿の秘訣を考える」というサ
ブタイトルで、高齢化が進む私たちにぴっ
たりのお話と様々なアドバイスをしてい
ただきました。

《元気でイキイキ生きるために何をするか》
○体調を良くする工夫をする
○健康に気を配り生きがいをもって生活する

○役割感をもつ
○脳は使えば使
うほど良い状
態になる

《いつまでも書道
を楽しむために》
○足腰を鍛えて
身体の健康を
保つ
○脳を上手に
使って認知症
を予防する

(前頭葉と海馬を鍛える)

実際に体を動かしたり、先生の出される
問題を解いたりして、楽しい講演会になり
ました。

会員集会・会員交流会

日時 八月六日(日) 午後五時半
会場 豊橋市民センター
ホテルアソシア豊橋

参加者 一〇四名
本部から関根玉振理事長、松下英風副理
事長のご臨席を賜り、平成二十九年東三
河支部会員集会および会員交流会が盛大に
開催されました。

会員集会は豊橋市民センターにて開催さ
れ、平成二十八年度事業報告並びに二十九
年度事業計画、平成二十八年度収支決算報
告及び二十九年度収支予算案について報告
がありました。

引き続き行われた会員交流会は、会場を
移動してホテルアソシア豊橋で開催されま
した。会に先立ち、林田虎峰新支部から支
部運営委員の紹介と就任のあいさつがあ
り、会員交流会が始まりました。

関根理事長のご祝辞、松下副理事長の乾
杯のご発声、そして和やかな交流会の中、
第六十七回中日書道展入賞者が紹介され、
会員一同盛大な拍手でお祝いしました。



講演会

濃 飛 支 部

第一回企画委員会 四月十六日(日) 下呂市
第一回役員会 七月七日(金) 下呂市

第三十二回濃飛支部展

日時 七月七日(金)～七月九日(日)
場 所 下呂交流会館(下呂市森)

出品点数 七十四点(内 賛助出品五点)
交流会館は下呂市街の見渡せる高台にあり閑静な場所です。今年は中日展出品作品の他に会員外の作品、会員の自由作品も展示しました。本部の先生からは五点もの出品を戴き会場に花を添えることが出来ました。関根先生、安藤先生、岡野先生、松下先生、大池先生ありがとうございます。開期中參觀者は三百名余りでした。



支部展風景

支部集会

日時 七月九日(日) 三時～
場 所 湯之島館

来賓に関根玉振中日理事長をお迎えしました。
二十八年度事業報告、会計報告がなされ会員一致で了解されました。続いて二十九

年度事業計画

案、予算案が提案され全員一致で承認されました。

講演会

日時 七月九日(日)
場 所 湯之島館

講師 島田智博先生(日本画工房 篁)
演 題 付立『水墨画を楽しむ』

水墨画の付立という技法を実演で教えて戴きました。先生は花や鳥風景等を次から次へと描かれ皆さんは感嘆の声を上げ熱心に見入っていました。二十点余を見る見るうちに描かれ、最後に抽選で戴きました。



講演会

交流会

日時 七月九日(日) 五時～
場 所 湯之島館

お忙しい中、本部より理事長の関根玉振先生に御来場戴き先生を囲んでなごやかな交流会が行なわれました。



支部集会

北 勢 支 部

第三十一回北勢支部展

会 期 七月二十一日(金)～二十三日(日)
会 場 四日市市文化会館 一階展示室
出品数 七十八点
入場者数 四百名

本部から関根玉振理事長、伊藤仙游、岡野楠亭、松下英風副理事長、大池青岑事務局長の玉作を拝借し、会場に花を添えて戴きました。書体や筆遣いにそれぞれの個性があらわれた力作が会場に並び、より一層の見ごたえのある支部展になりました。

支部集会 講演会・懇親会

日時 七月二十三日(日)
場 所 四日市市文化会館 第三ホール

本部より大池青岑事務局長、上小倉積山第二企画部長兼IT部長をお迎えし平成二十八年度事業報告、収支決算報告、二十九年度事業計画案、予算案が承認されました。



支部展会場

講演会・懇親会

講師 皇学館大学准教授 上小倉積山先生

演 題 「跋文にみる蘇軾」

参加者 六十五名

跋文の中で書作品は、神(精神)・気(気品)・骨・肉・血がすべてなければ優れた書ではない事、また書の勉強のスタイルは古典をしっかり勉強したうえで古典のままではなくそれに新意を入れて作品を書く事、等々、跋文にかかれた書に対する蘇軾のこだわりをわかりやすく解説いただき大変興味深く、有意義な講演会でした。

講演会後、プラトンホテルに移動しての懇親会では、ピング大会もおこなわれ、和やかで楽しいひと時を過ごしました。

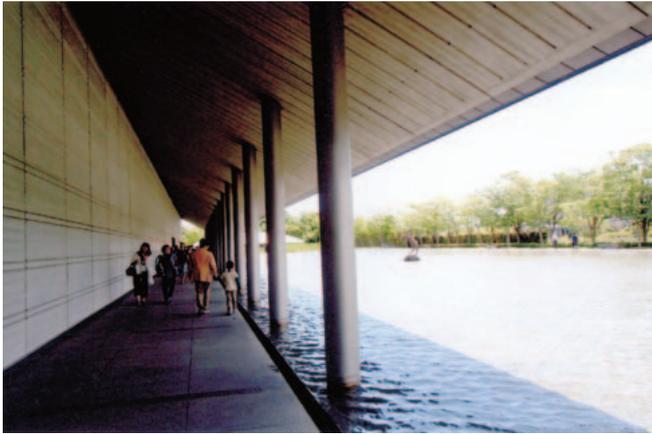


講演会

中南勢支部

●中南勢研修旅行の報告

五月二十八日快晴。一行三十五名で滋賀県守山市、長浜市を目指す。佐川美術館は琵琶湖、比叡山を借景に風光明媚。建物はまさに湖に浮かぶが如く周囲に池水を張り廻らせ、初夏の風に揺れる水面は陽光を煌めかせている。平山郁夫「平和を求めた遙かな想い」と題する仏教伝来やシルクロードをテーマに描いた日本画の数々は、静かに、深く心に染み入る悠遠の趣。佐藤忠良「優しいまなざし」の中で、ぬくもりのある風景」としたブロンズはそれぞれの表情を醸し出す。小品ながら作者の優しい心情が素人の私の目にも読み取れる作群。特別展はなじみのある「仮面ライダープレミアムアート展」。原作者を中心としたプロ集団の魂あふれる根性を感じた。長浜黒壁スクエアは生活に密着した承認たちによる伝統と現代性の調和。私たち観光客の心を巧みに取り込む。日常を忘れ時間の過ぎるのを忘れた一日だった。



佐川美術館風景



研修旅行

岐阜支部

●支部会員展

日時 九月八日(金)～十日(日)
会場 岐阜市民会館
参加者 二二九名

岐阜支部展も爽やかな秋晴れにめぐまれ、二十三回目を迎えました。今回も本部の理事長、副理事長三名の先生方の作品をお借りしまして会場を一段と盛りあげて頂きました。

そして、若年層の作品も十三点ほどあり、嬉しく思っています。又岐阜支部は漢字、仮名、篆刻と作品の数もバランス良く、作品の間合いもほどよく、大変美しく、きれいな会場に仕上がったかと思えます。他の支部の先生もお見えになり、おほめを頂きました。これも会員皆様のご協力があったてのことで感謝致しております。



陳列挨拶



作業風景



支部展風景